

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	府中市立府中学園	校長	池田 哲哉	生徒指導主事	上 勿 亭
-----	----------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『9年間を通じた児童生徒会活動の充実 ～コロナ禍における委員会活動を通して～』
-------	--

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「思考力・判断力・表現力」	2	「課題発見・解決力」	1	「高い志・使命感」	3

取組のねらい

- ・学園全体で同じ方針で取組むことで、児童生徒の一体感を高める。
- ・ステージ朝会を中心として、発達段階にあった目標設定や声掛け、振り返りを行うことで委員会活動の充実を図る。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『学園全体から各ステージへ』
----------	---------------------------

<p>【組織図】</p> <p>児童生徒会執行部（4～9年生24名，教員6名）</p> <p>第1ステージ（1～4年生）…執行委員6名，教員2名</p> <p>第2ステージ（5～7年生）…執行委員9名，教員2名</p> <p>第3ステージ（8・9年生）…執行委員9名，教員2名</p> <p>【目標設定の流れ】</p> <p>毎月中旬…児童生徒の様子や季節，社会情勢を踏まえて，月目標の方向性を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月目標の方向性に合わせて，委員会での取組内容を各委員会の担当教員と執行委員が協議する。</li> <li>・月目標の方向性に合わせて，ステージ目標を各ステージ担当教員と執行委員が協議する。</li> </ul> <p>毎月下旬…委員会活動</p> <p>翌月上旬…各ステージ朝会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月目標の振り返りと発表</li> <li>・委員会の取組紹介</li> </ul>	<p>今年度，児童生徒会担当の教員を昨年度の3名から6名に増やした。全体を統括する教員を位置付けることで，学園全体の方向性がブレないようにした。各ステージ担当の教員を明確にすることで，各ステージの組織力が高まった。</p> <p>学園全体の月目標の方向性は，担当教員と第3ステージの執行委員で協議した。</p> <p>各ステージ目標の設定を行う際，第1ステージでは，具体的な行動目標を設定し，達成度を数値化して評価するなどの工夫を行った。</p> <p>各ステージ朝会を定期的にオンラインで行うことで，目標の周知を図るとともに，児童生徒会執行委員の活躍の場を確保した。</p>
---	--

取組の成果と課題

アンケート項目	回答対象者	肯定的回答
昨年度より，委員会活動が充実した	4～9年生	76.8%
ステージ朝会で伝えられた内容は，よく分かった	4～9年生	85.9%
自分たちの力で児童生徒会の取組を進めることができた	執行委員	91.6%

アンケートの結果から，児童生徒会執行部の組織体制を改善し，委員会活動を組織的に行ったり，コロナ禍を意識したステージ朝会を工夫したりすることで，取組の充実を図ることができた。また，児童生徒会執行委員の活躍の場を確保したことも充実感につながった。来年度も更なる委員会活動の充実を図りたい。